

「渋沢栄一」特集 ～2021年大河ドラマ「青天を衝け」より～

「天才渋沢栄一」明治日本を創った逆境に強い男と慶喜」



星亮一／著

「父渋沢栄一」



渋沢秀雄／著

「小学校では学べない 渋沢栄一のやりぬく力」



齋藤孝／著

銀行・株式取引所・保険会社・鉄道…。近代日本のあらゆる産業と経済の仕組みを整えた偉人は、どのように生まれたのか？「日本資本主義の父」渋沢栄一の波乱万丈の一生を、イラストを交えて紹介。わかりやすい解説付き。

齋藤孝氏は1960年静岡県生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程等を経て、明治大学文学部教授。専門は教育学、身体論、コミュニケーション論。著書に「声に出して読みたい日本語」など。

近代日本経済の父は、こうして意思決定してきた。公益を追求した経済人・渋沢栄一の軌跡と素顔を、息子であり、実業人・文化人として活躍した渋沢秀雄が描く。秀雄四男・渋沢均による「父渋沢秀雄との暮らし」も収録。

渋沢秀雄氏は1892年東京生まれ。東京帝大卒。渋沢栄一の四男。田園都市株式会社取締役、東宝会長、東映取締役を歴任。随筆、評論でも知られた。著書に「明治は遠く」など。

農民、商人から幕臣、明治官僚、実業家の道へ。近代日本を築いた天才の活躍の裏には「論語」と徳川慶喜、日本古来の道義心があった。日本を“世界レベル”に引き上げた渋沢栄一の刮目の人生を紹介する。

星亮一氏は、1935年宮城県生まれ。日本大学大学院総合社会情報研究科博士課程前期終了。福島中央テレビ報道制作局長等を経て、歴史作家。著書に「京都大戦争」「呪われた明治維新」など。

1月の催しもの

とき	催しもの
18日(月) 午前11時～	あかちゃん絵本 よみきかせ会 ※参加は先着4組
24日(日) 午前11時～ 午後3時～	子ども工作教室 ※参加は各回4組 予約受付は、1月4日(月)から図書館受付カウンターで行います。

◆展示会

「図書館所蔵複製絵画展」
1月9日(土)～1月17日(日)

その他の本

- ◆「経済と道徳」 渋沢 栄一／著
- ◆「論語と算盤～モラルと起業家精神～」 渋沢 栄一／著
道添 進／編訳
- ◆「原点でよむ渋沢栄一のメッセージ」 渋沢 栄一／著
島田 昌和／編
- ◆「君から、動け。～渋沢栄一に学ぶ「働く」とは何か～」 佐々木 常夫／著
- ◆「お札に描かれる偉人たち～渋沢栄一・津田梅子・北里柴三郎～」 楠木 誠一郎／著
- ◆「徳川慶喜と渋沢栄一～最後の将軍に仕えた最後の幕臣～」 安藤 優一郎／著

俳句 「初東雲」

川一筋初東雲の一字
同輩の近況聞きつどんど焚く
陽だまりをわが世としたり初雀

ふそう俳句会

川柳

白帝の城もさやかに今日も晴れ
古里の訛が心地良い帰省
とりどりの種を選んで春を待ち

扶桑川柳クラブ

短歌 「若水」

十年経る母の遺影に若水を
汲めば仏間に初日射し入る
隣家に息子夫婦は居を構え
共に栄えん新しき年
丸ポストひつそりと立つ町はずれ
春呼ぶごとく小鳥来て鳴く

ふそう短歌会

詩吟 「元旦試筆」

紅霞海を出でて九坂に満つ
東帝の恩波唯大なる哉
世路の陰夷梅知るや否や
霜辛雪苦一枝開く

山鹿 素行

「意」 赫々たる太陽は海から出て、海面に立ちこめていた薄い霞をたちまち紅に染めて、輝く光は天地一杯に拡がる。今朝は万物一新の元旦の朝である。日の神の偉大なる恩恵が偲ばれる。美しく咲き誇っているあの梅の木は、世の中のせわしく困難なことを知っているだろうか。これまでの雪や霜の寒さにもめげず、咲き始めたのであろうか、日の神の恩沢の廣大なるをここに思いがする。

正風流二代目家元 山内 正風